

日置市 議会 だより

平成25年 第34号
11月

9月定例会 主な内容

- 議案審査の結果 …………… P 2
- 補正予算の内容 …………… P 4
- 一般質問 …………… P 5
- 決算審査特別委員会 …………… P 10
- 委員会レポート！調査報告 …………… P 12
- 傍聴席から …………… P 15
- インターネット中継のお知らせ／編集後記 …… P 16

〒899-2592 鹿児島県日置市伊集院町郡一丁目100番地
TEL(099)248-9435/FAX(099)273-3063
<http://www.city.hioki.kagoshima.jp>



上手に稲刈りできたよ（東市来宮田地区：P11に関連記事）

社会福祉法人美山福祉会に

第4回日置市議会臨時会が8月12日に、第5回市議会定例会が9月9日から10月1日の日程で開催されました。
市有財産（ゆのもと保育所）の譲与や条例の一部改正、補正予算などの議案を審議しました。

ゆのもと保育所

社会福祉法人美山福祉会へ譲与

社会へ譲与

提案内容

ゆのもと保育所の建物を平成26年4月1日に社会福祉法人美山福祉会へ譲与するもの。

ただし、当該財産を保育所として使用することが条件。

※この議案は6月定例会に提案されていたが、文教厚生常任委員会からさらなる審査が必要との申し出があり、閉会中に継続して審査されてきた。

これにより、市内公立保育所はすべて民間へ移管されることになる。



美山福祉会に移管されるゆのもと保育所

主な質疑

問 ゆのもと保育所は築7年で、建設費用の起債償還が残っているが無償で譲与することに問題はないか。

答 ゆのもと保育所は、湯之元第一地区土地地区画整理事業に伴う立ち退きで新築したが、財源は土地地区画整理事業で、福祉の負担ではない。

また、無償で譲与することについては、譲与先に経済的な大きな負担をさせず、その分を保育サービスの充実に回してほしいとの考えである。

問 検討委員会の委員の中に利害関係者が入っていたとの指摘があった問題で、どのような形で委嘱をしたのか。

答 先に他に2人の方へ依頼したが、辞退され、3人目でその方に依頼した。

委員の子どもが譲与先法人に勤務しているが、すでに結婚をされたため、把握することができなかった。

このため、市の顧問弁護士にも問題がないか確認したが、この委員が出した結果を除いても選定結果に何ら影響がなく、問題はないとの答えであった。

問 湯田校区内の保育園の競争、学童保育などの問題への懸念に対し、どのように答えていくのか。

答 市が保育の措置（保育の入所）を決めることが原則で、それにより一部に集中することを防いでいる。

過当競争が起らないよう、東市来地域の各保育園に協議をお願いしていく。
学童保育は、既存の法人と協議していく。

市立ゆのもとと保育所の運営 来春から

徹底討論

反対

選定委員会に利害関係者が入っていたことについて、疑念を抱かせることのひとつになった。

また、選定委員会の中に経営状況の分析ができない公認会計士などを入れるべきであり、経営状況の分析結果が選定にどのように影響したのか根拠が明らかでない。

関係者や市民、議会が大方納得できる説明やそのため明確な根拠が示されるべきであり、納得しがたい部分もあるため反対。

質の良い保育をどの子どもにも保障するために、公立の保育園を残すべきである。民営化を進めることは、公的な責任を投げ出すことであり、市民共有の貴重な財産を無償で譲り渡すことに反対。

賛成

反対討論の中にもあったが、選定委員会の委員に利害関係者がいたことは遺憾である。

しかし、その経緯をみても、当該委員の申告がなければ、執行当局が把握することは極めて困難であったと思う。

顧問弁護士との協議でも公平性に欠けるまでとは言えないとの見解で、その委員を除いても選定結果に影響がないこともあり、許容の範囲と考える。

現在、ゆのもとと保育所に通う子どもたちやその保護者の方々が今後を心配されており、スムーズな運営開始に向けての環境づくりのための時間の確保も大事なことを考えるため賛成。

《賛成15・反対6で可決》

伊集院駅自由通路新設 工事のための協定締結

提案内容

伊集院駅の北口駅前広場と南口駅前広場を自由通路で結ぶ工事を行うための協定をJR九州と締結するもの。

金額は6億6910万円。

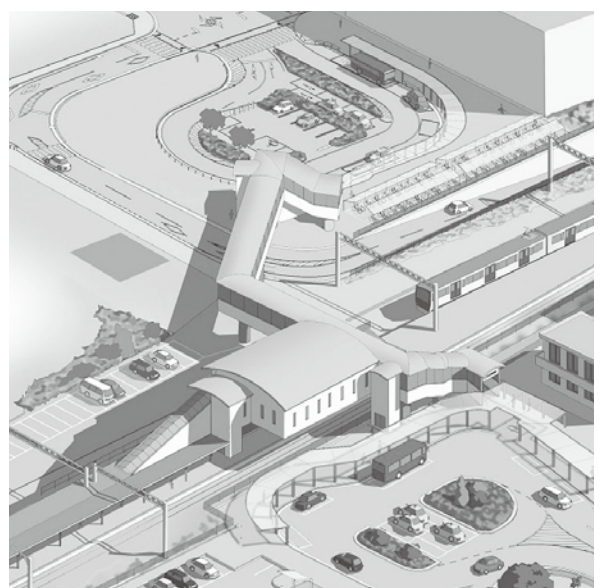
《全会一致で可決》

人権擁護委員

本村 一男 氏

(伊集院町麦生田)

《全会一致で適任》



伊集院駅イメージ図

「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書に関する陳情書

陳情の趣旨

協同労働の労働組合は、市民主体のまちづくりを創造するものであり、働くこと・生きることに困難を抱える人々自身が、社会連帯の中で仕事を起こし、社会に参加する道を開いている。社会の実情を踏まえ、就労の創出、地域の再生、少子・高齢社会に対応する有力な制度として、協同労働の協同組合法の速やかな制定を求める。

審査の状況

社会的な責任やその所在、位置づけが不透明なところもあるが、すでに国会議員等において、願意に沿った取り組みもなされている。提出者の願意も理解できるところから趣旨採択することに決定した。

《全会一致で趣旨採択》

**9月
補正**

国や県の事業採択や災害復旧などで
一般会計

3億8795万円追加

9月補正予算は、一般会計をはじめ特別会計10件が提案され、各委員会に付託して審査を行いました。

災害復旧費

8140万円

9月の豪雨及び台風17号による被害を受けた道路、河川、農地などの復旧を行う。



豪雨により崖が崩れ被害のあった水田

**鹿児島県安心
子ども基金事業費**

2760万円

保育士等の処遇（賃金）を改善するための臨時特例事業を行うための費用。市内私立保育園20園で実施。

小水力発電設備設置事業費

200万円

日置市小水力発電推進協議会が行う小水力発電設備の設置に対する補助金。

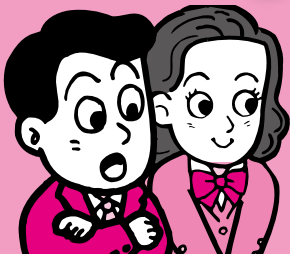
●一般会計・特別会計補正予算

(1万円未満四捨五入：△はマイナス)

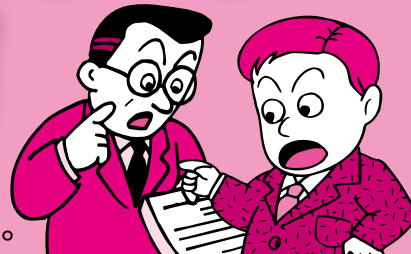
会 計 名	補 正 額	補 正 後 予 算	採 決 の 状 況
一般会計(第4号)	3億455万円	254億7330万円	全会一致で可決
一般会計(第5号)	8340万円	255億5670万円	全会一致で可決
国民健康保険	△154万円	63億3782万円	全会一致で可決
公共下水道事業	△327万円	6億9860万円	全会一致で可決
農業集落排水事業	既定予算の組替	3695万円	全会一致で可決
国民宿舎事業	86万円	2億2417万円	全会一致で可決
温泉給湯事業	40万円	682万円	全会一致で可決
公衆浴場事業	20万円	1031万円	全会一致で可決
介護保険	9551万円	53億7215万円	全会一致で可決
後期高齢者医療	△73万円	6億2478万円	全会一致で可決

一般質問

これからどうする! 日置市



9月定例会では9人の議員が登壇し、日置市の未来を見据え質問を行いました。



より良い市政を目指して



黒田 澄子 議員

黒田 日置市は非核平和宣言の市であるが、これを進める施策は宣言市のポールが建てられているだけで不十分であると以前も申し上げたが改善がない。そこで、8月6日、9日、15日の黙祷の呼びかけとサイレン等の実施、8月には宣言市の懸垂幕を本庁支所への設置ができないか。また、市立図書館、各

質問 1 非核平和都市宣言市の施策の充実を

【答弁】
懸垂幕設置、平和の語り部にも取り組む

市長

本庁支所に非核平和宣言都市の懸垂幕を設置し、8月6日、9日、15日には統一してサイレン等と黙祷の呼びかけを推進。市立図書館や学校図書館での書籍等の展示を行う。非核平和特設コーナー等の設置、また風化しゆく戦争の史実の語り部の設置を学校応援団の協力のもと推進していく。



本庁舎前に設置されている非核平和都市宣言の看板

質問 2 療育児等のケアにサポートブックを

【答弁】
役立つツールとして今後検討する

黒田

療育を要する子ども等は保護者等の様々な福祉医療等への手続きの際の説明負担と精神的負担があり、毎回子どものお産時からの状況をそれぞれの窓口で詳細に説明しなければならぬ。また、子どもの保護者が変わる場合もあり、母

市長

現在、月1回鹿児島大 学準教授に発達障がい支援体制の指導助言をいただいております。役立つもののご意見をいただいた。今後時間をかけて検討する。

(その他の質問)

- ・胃がん対策にピロリ菌検査
- ・改正災害対策基本法



田畑 純二 議員

質問 1 市民・議員・市長（職員）の関係は

【答弁】 協働を推進して信頼関係の構築に努める

- ①自治を高める市民・議員・市長（職員）のパワーバランスの考え方は。
- ②望ましい地方政治の実現を目指して、どんな政策を実行し、成果はどうか。
- ③市民に信頼される議会はどんな議会か。
- ④住民投票による住民自治の拡充強化について、どう考えているか。
- ⑤議員提案による政策条

例はどこまで可能と考えているか。

市長

- ①三者の関係がバランス的に保たれていることが、市政運営上理想的である。
- ②自治体独自の政策、市民の政策選択が求められ、総合計画の成果もある。
- ③民意を集約し、リーダーとしての役割を果たし、住民が抱える課題解決や政策の執行を行政とともに果たしていく議会。
- ④テーマも多様化しているが、政策過程において、市民の皆さまの声を聞き、作る一つの方法。
- ⑤全国的に増えているが、市民福祉の増進を基本に提案し議論を重ねたい物を作り上げていくべき。

田畑

- ①農地保全集積、担い手育成新規就農者への政策とその成果は何か。
- ②人・農地プランの地域の話し合い状況と本市の作成状況は。
- ③地場製品ブランド化への取り組み、6次産業化の現状は。
- ④本市の観光農園と農業農村活性化支援センター

質問 2 本市の農業振興は

【答弁】 諸事業の活用で農業経営を支援している

ターの課題と対応策は。⑤鳥獣による本市の農業被害の現状とそれへの対応策は。

市長

- ①交付金事業や農業者連絡会等を中心に諸事業で経営定着を図っている。
- ②24年度各地域で説明会を開き市内10地区が策定済みで、生産基盤地区の概ね7割の達成状況である。
- ③アイスクリームの製造・販売、農家レストラン、なべスープなどの商品化。
- ④高齢化と後継者不足、経営的に厳しいが安心安全な観光農園作りを支援。
- ⑤被害額の5年平均は85万2千円。猟友会による捕獲駆除。

その他の質問
・安全な地域づくりを目指すために



東市来の観光ぶどう園

出水 賢太郎 議員

質問 1 空き地・空き家問題への対策を

【答弁】 国の動向を注視しながら検討

- 空き地・空き家の放置は、火災や犯罪の危険性、虫の発生など、周辺の住環境を悪くするため、全国的な問題になっている。過疎化・高齢化が進む本市でも大きな問題になりつつあり、これまで何度も質問してきたが、大きな進展が見られない。市の対応はどうなっているのか。

市長

管理へ向け、他市の政策などを参考にしながら、条例や新制度の実施など、具体的な対策を示すべきではないか。

空き地の管理は、市環境保全条例に基づき、市民や自治会からの要請を受け、所有者等に適正管理を行うよう市から通知を送っている。

通知件数は、平成22年度8件、23年度7件、24年度14件、25年度57件で、そのうち、つじヶ丘団地が43件と多い。現在、半数ほどが通知に応じ、草払いを行っている。

今後新たな条例は制定せずに、現行の環境保全条例の適用と環境保全審議会の意見も参考にしながら、他の自治体でも行われている行政代執行なども検討していく。空き家の管理については、自治会等と連携しながら、所有者へ対処をお願いしている。空き家バンクの活用も検討しているが、家財道



池満 渉 議員

池満 26地区のこれまでの取り組み状況について、どのように評価しているか。
「地域づくりに係る市長との意見交換会」などで、対象事業の範囲を拡大して欲しいなどの声はなかったか。
各種団体を交付対象とする「協働の地域づくり事業」の活用状況はどうか。

26年度中に、第3期地区振興計画を策定。今後は地区特有の課題に則したメニューを導入し、共生・協働による元気で魅力ある地域づくりに進化させたい。

質問 1 地域づくり推進事業を更に進化させるには

【答弁】 第3期計画で、地区スロガン達成を

事業の継続の有無、その方向性など今後のあり方については、どう考えるか。

市長 公共的課題はおおむね解決され、事業の意義は着実に浸透し、順調な進捗と思う。
事業費全体として、地区特有の課題解決に向け、使い勝手のよい仕組みにして欲しいとの要望があった。

協働の地域づくり事業は、平成24年度までの4年間で、13団体に122万円を助成、申請は増加している。

質問 2 職員の職務教育の実態と、資質の向上は

【答弁】 資質向上に向け「公務員倫理」を更に徹底

入庁時研修で基礎基本を、配属先で専門教育を実施している。

市長 また、法令・地方自治・公務員制度などは県研修センターで受講しており、社会人としての心構えと接遇研修も新採職員向けに実施している。
入庁後も、レベルに応じた知識・技能の研修を適宜受講し、能力向上を図っている。

池満 法令、条例、規則と各種事務取扱など基本的な職務教育は、いつ・どのようを実施されているか。
公僕としての倫理観の醸成など、資質向上に向けての教育機会は、どうか。

「公務員倫理」は必修科目とし、その他毎年約30の科目を選択受講できるチャレンジ研修で、公務員としての資質向上に努めている。



協働による清掃作業



解体し更地になった空き家跡

具の処分や大規模な修繕が必要で、なかなかうまくいっていない。
また、家屋を解体し、更地にすれば、固定資産税が高くなる問題もあり、老朽家屋がそのままになっているのが現状だ。

【その他の質問】
現在、国会などで空き家対策法案の制定が検討されており、これらの問題が解消される可能性がある。本市では、第3期地区振興計画（平成27～29年度）において、地域づくり推進事業費を活用して、各地区公民館単位で空き家対策に取り組むことも考えていきたい。



坂口 洋之 議員

質問 1 介護保険特別会計の運営の課題は何か

【答弁】 給付費が毎年5%伸び続け、厳しい運営

第6期事業計画に向けては介護保険料と介護給付費のバランスを見ながらの施設整備が求められるが、どのように施設整備を考えているか。

市長

平成24年度は46億6千万円の給付費で、毎年5%程度伸びており、介護保険料を引き上げざるを得ない状況だ。

現在、介護認定者の約84%が在宅、施設のサービスを利用しており、今後の課題は、医療との連携、地域の見守りを強化し、在宅サービスを充実したい。

坂口

少子高齢化が進む中で、介護保険制度の負担と給付の課題は何か。

国の社会保障国民会議において介護度、要支援1・2について介護保険から外れ、市町村に移行する動きがある。

自治体によるサービスの格差や、介護予防の重点化を防ぐ目的から後退すると危惧されるが、どのように考えているか。

要支援1・2の移行については自治体間に差異が出ることも予想される。本市としては介護保険の認定を受けていない高齢者を含め、健康教室や健康体操の充実と高齢者参加のための移動手段を含めた細かい施策を考えている。

第6期の施設整備計画は在宅介護への重視を考へ、計画しない考へた。



上園 哲生 議員

質問 1 介護保険制度の持続可能性に向けて

【答弁】 2年連続の赤字予算で対応

のような方針で臨むか。

市長

介護認定者の利用が、急速な高齢化の進展に伴い増大し、さらに待機者解消に少しでも寄与すべく、前倒して施設を新設した結果、当初の予測よりも介護給付費が増大したことが、介護保険運営の厳しい状況になった要因と考へている。

このような中で、26年度予算は、介護給付費の抑制に努めながら、県の財政安定化基金からの借入金も含めて編成する。

上園

第5期目(平成24年度〜26年度)の介護保険料は、月額基準額を前期より千円増額して運営をしているが、既に2年目の今年度、介護給付費準備基金を全て取り崩しても足らず、財政安定化基金から借り入れて、運営している状況である。このような状況になった要因をどのように把握し、26年度予算編成にど



質問 2 負の連鎖を打ち切るためには

【答弁】 6期目の介護保険料引き上げで

定化基金からの貸付金の返済金も上乘せした保険料を思量すると相当な値上げを考へざるを得ない。年金が引き下げられる中で、第6期目の介護保険料の算定にどのように臨むのか。

市長

第6期目の介護保険料引き上げは避けられない。介護保険料を抑制していくためには、健康づくりや生活習慣病予防に努めるとともに、要介護状態とならないよう、重病化予防も含めた介護予防も強化していく。

介護保険制度の財源には、長期的展望に立った国費投入の増額を強く要望していく。

(その他の質問)

・次年度国会提出の介護保険法改正案の対応について
・「介護保険推進全国介護サミット」開催について

質問 2

認知症予防についての本市の取り組みは

【答弁】

脳活性化のための教室や講演会を実施

坂口

65歳以上の高齢者のうち、認知症の人は460万人とも言われているが、本市の現状と対策は何か。早期発見には認知症サポーター医やもの忘れ相談医の役割は大きく、幅広い周知が必要ではないか。



認知症講演会の様子

市長

認知症数は平成24年度で2023人。予防策としては、特定検診の受診率向上が重要であり、専門医の連携と啓発を今後とも進めたい。早期発見の先進的な取り組みは現在考えていない。

金沢市や福井県は「もの忘れ予防事業等」先進的な取り組みを実施して早期発見に効果がある。本市も取り組めないか。

質問 1

都市計画とまちづくりは

【答弁】

山仁田川の改修は1億円の事業費が必要

松尾

湯之元第一地区土地区画整理事業の橋の架け替え、光の里、銀行等の移転実施時期はいつごろになるか。

この土地区画整理事業は平成35年度完了を目標としているが、今後計画的に進めていけるか。

また、大里川の改修が非常に遅れているが、いつごろから始まるか。湯之元南地区は狭い道

松尾 公裕 議員



路や住宅が密集しているが、安心安全なまちづくりはどのような方針で進めていくか。また、山仁田川は時々氾濫するが、残りの改修はどのような方法で行くのか。

市長

湯之元橋は平成27年3月末に完成し、残りの平田橋、新橋については着工年度未定である。

大型建物については建物移転調査を進めていく。今後の事業については、3年ごとに計画の見直しを国に申請し、計画書の変更もしながら事業を推進していく。

大里川については改修の働きかけをしていく。山仁田川の残りの改修は、家屋移転など概算事業費が1億円程度になるようである。

質問 2

県道・市道の改良は

【答弁】

県道については県に強く要望していく

松尾

県道山田湯之元停車場線は事業が一時的に止まっているが、事業継続を県に強く要望できないか。また、市道長里皆田線は進ちよくがかなり遅れているのではないか、いつごろの完成になるか。

市長

県道については、これまで皆田地区からの強い要望があり県に要望してきたが、今回、同意書をつけての再度提出があったので県に強く要望していく。

市道長里皆田線は延長1.5km、幅員9.2mで全体事業費が3億円で計画している。進ちよく率は34%である。

現在、用地交渉が難航しており、粘り強く交渉し早期完成に向けて努力していく。

(その他の質問)
・東市来体育館改修について



湯之元橋の架け替え工事



山口 初美 議員

質問 1 はり・きゅう助成拡充の考えはないか

【答弁】 助成を拡充する考えはない

山口 医療費削減のためにも現在年30回まで1回につき800円のはり・きゅう助成を充実させる考えはないか。
はり・きゅうは自然治癒力や免疫力を高め、腰や肩・膝などの痛みを和らげる、視力や聴力の回復、脳の修復力、病気などの予防効果もあるといわれている。
はり・きゅう治療院に

は高齢者ばかりでなく若者も来るようだ。

南さつま市は、年40回まで1回につき1000円の助成で、鹿児島市は35歳以上の国保世帯を対象に年60回まで1回につき1100円を助成している。

医療費や介護給付費削減のためにも助成対象年齢の幅を広げるなどの考えはないか。

市長

平成24年度においては636人が交付を受け、7737枚利用され、1人当たりの平均利用枚数は12枚である。

回数及び助成額について拡充の考えはないが、広報周知に努めたい。



はり・きゅう券の見本

質問 2 小学校の普通教室にクーラー設置を

【答弁】 クーラー設置は考えていない

扇風機で対応できると考えるか。
薩摩川内市のある中学校で最近熱中症で倒れた例があったが、もはや命にかかわる問題だ。
自治体には、子どもたちの教育環境を整える責任があるはずだ。

山口

桜島の降灰などで窓を開けられないこともたびたびあり、児童・生徒はもちろん先生方や保護者の皆さんから私のところには要望が出されている。

普通教室全部にやっと扇風機が設置されたところではあるが、35度を超えるような猛暑日が続くなど異常な暑さのなか、

教育長

温暖化傾向で気温の上昇や桜島の降灰など、厳しい状況の日もあることは承知しているが、現状ではクーラー設置は考えていない。

(その他の質問)

- ・消費増税について
- ・脱原発について
- ・高すぎる国保税引下げ

決算審査特別委員会を設置

9月議会の最終本会議において、平成24年度の決算を審査するため、地方自治法第110条および第233条に基づき、決算審査特別委員会を設置しました。

目的は、歳入の確保がしっかりとされているか、歳出が適正に執行されているかなどを、決算書や補足説明資料に基づいて審査し、住民に代わってその成果を評価するものです。

そして、決算年度における財政運営が適正であったか、その計画性・弾力性・積極性を総合的に

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 上園 哲生 |
| 副委員長 | 黒田 澄子 |
| 委員 | 松尾 公裕 |
| 委員 | 中島 昭 |
| 委員 | 花本 千鶴 |
| 委員 | 坂口 洋之 |
| 委員 | 門松 慶一 |
| 委員 | 山口 初美 |
| 委員 | 留盛浩一郎 |





市長 花木 千鶴 議員

本市にも候補地となりえる県有地や市有地があるので、県へ誘致の要望書を提出する。

質問 1 県立総合体育館の本 市誘致はどうか

【答弁】
県へ要望書を提出する

花木

県は2020年開催予定の国体に向けて体育館の移設を検討している。すでに複数市が誘致に動いているが、本市も県都に隣接する地の利を生かして、誘致を働きかけてはどうか。

質問 2 環境自治体会議後の 施策推進は

【答弁】
家庭用太陽光発電設置に補助金を実施

花木

本市で開催された環境自治体会議には多くの市民が参加し、環境問題に関する市民意識が高まっていると思うが、具体的にどのような施策推進を図っていく考えか。

特に、再生資源回収事業では、3R運動を推進すべきではないか。



ゆすの里の隣にある広大な県有地

生ごみ減量化を図るため「生ごみモニター事業」を実施しているが、個人モニターばかりでなく地域モニターを導入してはどうか。

また、地球温暖化防止策を推進するため、家庭用太陽光発電に市の単独助成をすべきではないか。

市内道路の雑草、雑木が目立つが、国や県と協議連携することや食品容器環境美化協会のアダプト・プログラムに参加するなど、環境美化や観光面からも積極的な管理を図るべきではないか。

市長

環境自治体会議を通して、市民の意識が高まっていると認識する。

児童、生徒、教員も多く参加しており、さらなる環境教育の推進を図る。今後、可燃ごみへの資源ごみ混入を減らすため、分別の徹底化を図ることや、マイバッグ運動を推進していく。

生ごみ減量化はごみ処理費軽減のためにも重要であり、地域モニター導

入も検討する。

家庭用太陽光発電設置への市の単独補助金制度を来年度から実施する。

市道の管理は、道路維持班や地域の方々の道路愛護作業で協力いただき、国道及び県道は、直営の作業班や委託業者で実施。

今後、連絡会等で国や県に定期的な伐採をお願いし、市も環境美化に努めたい。

3R運動

リデュース（ごみの発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再資源化）

アダプト・プログラム

一定区画の公共の場所を養子にみため、市民がわが子のように愛情をもって面倒をみ（＝清掃美化を行い）、行政がこれを支援すること。

表紙の写真

10月18日、東市来地域の美山宮田地区で、保育園児による稲刈り体験が行われました。

宮田地区では、中山間地域等直接支払制度を利用して約10年前から、鹿児島市内のつくし保育園の園児らと都市農村交流を実施しています。

今回、稲刈り体験を行ったのは、つくし保育園年長組の子どもたち約30人で、6月には田植え体験も行いました。

地域の方々が丁寧に稲刈りの方法を教えると、初めはカマの使い方に苦戦していた子どもたちもあつという間に上手に稲刈りができるようになりました。

少し汗ばむような陽気でしたが、子どもたちは笑顔で楽しいと一生懸命稲刈りを体験していました。

12月にはつくし保育園で地域の方々も一緒に餅つきを行う予定とのこと、皆さん楽しみにされている様子でした。



レポート 活動状況～

所管調査

公共施設の管理状況を調査

総務企画

7月17日、地区公民館や消防防災施設等の管理運営状況を調査しました。

美山小学校体育の森

昭和51年、PTAの提案で児童の健康づくりと交流の場、そして地域住民の憩いの場として小学校に隣接して設置された。山林の所有は美山自治会。

地域づくり推進事業で、老朽化した遊具の補修等を行い、子どもたちはもちろん、地域の方々の健康・体力向上に利用されている。

旧東市来商工会館

旧東市来商工会館は、平成2年の新商工会館建設まで利用され、その後は倉庫として利用されてきた。

老朽化して雨漏りや壁面の崩落もあったため、今回アスベスト調査を行ったあと解体される。



飯牟礼分団の消防車庫

日吉支所

日吉支所は、耐震診断の結果、倒壊、崩壊の危険があるとの診断が出されたため、日吉支所庁舎建設検討懇話会を設置し、提言をまとめ、庁舎の建設場所や施設規模等を決定する。平成26年度に建設着手予定。

消防団飯牟礼分団車庫

飯牟礼分団車庫は、鉄筋コンクリート2階建てで、2階和室は災害時の消防団詰め所として利用される。

近年、異常な災害が多発しており、消防団は地域における期待が大きい。

所管調査

小・中学校及び東市来体育館を調査

文教厚生

7月22日、市内小中学校及び東市来体育館の現地調査を実施しました。

市内各小・中学校

(鶴丸小、伊作小、伊集院小、伊集院北小、上市来中)

鶴丸小学校の6つの「あ」(あいさつ、あるき、あそび、あつまり、あじしまつ、ありがとう)の取り組みや上市来中学校・伊作小学校の読書活動などそれぞれの小・中学校で特色のある教育を行っている。

なお、各小・中学校で運動場の排水や樹木の成長による生垣への影響、施設の老朽化など早急な対策を講じる必要がある。また、そのほかにもトイレ改修や設置など、教育環境を整え、施設利用の利便性を高めるための対策・対応を望む。

東市来体育館

この施設は昭和41年に建設され、築47年経過している。

昨年度実施した耐震診断の結果、大規模な補修をしなければ屋根が落下する危険性があったため、体育館は今年3月14日から利用停止になっている。



東市来体育館の屋根の状態を調査

これまでの利用者には、近隣のB&G東市来海洋センター体育館や皆田地区公民館体育館を利用していたなどとして対応している。

かなり老朽化しており、耐震補強や改修工事をして使い続けるのか、解体するのか、市内体育施設の集約や維持管理費なども視野に入れて、今後の方針を検討すべきである。



委員会 ～委員会の



伊作田小学校となりの江口公営住宅予定地

所管調査

公共工事等の進ちよくを
産業建設

8月19日、公共工事等の進ちよくについて調査を行いました。

公営住宅建設事業

(美山第2・江口)

本市では、過疎対策と小規模校対策の一環として、定住促進を図ることを目的に、公営住宅建設事業を進めている。

美山第2公営住宅、江口公営住宅ともに10戸の

建設を予定し、平成26年度の完成予定である。

駐車場やベランダ等で事故が発生しないよう十分な安全対策を望む。

また、美山は県道沿いに建設するため、児童の通学や子どもの飛び出しなどの危険性もあることから、県へ歩道の設置を要望すべきである。

湯之元第一地区土地区画整理事業

湯之元地区の区画整理を平成35年度完了予定で実施している。

今年度は、湯之元橋下部工事や橋の護岸工事、区画道路、宅地整地などを実施予定である。

今後とも住民の方が安心して住めるような事業となるよう説明会等を重ねて、同意のうえ、事業を進められたい。

行政視察

産業サポート事業、長崎さるく事業

総務企画

8月19日、20日に長崎県雲仙市で「雲仙産業サポート事業」、長崎市で「長崎さるく事業」について研修を行いました。

雲仙産業サポート事業

雲仙市は、起業や経営改革を行うものに対し補助金で支援を行っている。

事業申請は、一次の書類審査を行った上、プレゼンテーション及び面接試験を行い、審査している。

事業認可されると経費の10分の7以内で、限度額700万円の補助金を

受けられる。

事業実施後は、3年間の経営診断士の指導や報告書の提出などで、事業効果をチェックしている。

本市でもチャレンジショップ支援事業が始まり、空き店舗の活用が展開される。

企業に対するサポートへ広げることも今後必要になると考えられるので、参考にした。

長崎さるく事業

長崎市では平成18年度に「長崎さるく博」を実施し大成功をおさめたが、市民はその時のみで終わらせたとの認識が強かった。

従来の観光は、大型バスで観光地を回ることが多かったが、最近は少人数でまち歩きを行うことが多くなっている。

市民の方に協力いただき、ガイド325人、サポーター184人を育成して、市内中心地全てが観光地というイメージを発信すべく、「さるく(歩)きながら観光ができる」を行っている。

本市も食・歴史・温泉といった観光資源が充実しているため、市民の協力や思考をさらに活用して取り組むための仕掛けも必要である。



長崎さるくを調査

行政視察

認知症および介護予防支援 小中一貫校教育 文教厚生

8月5日、6日に熊本県山鹿市で「認知症および介護予防支援」、佐賀県多久市で「小中一貫教育」について研修を行いました。

認知症および介護予防支援

山鹿市では、認知症サポートリーダーや認知症サポーター、介護予防サポーターなどの人材育成と環境を育てることで、市民が自ら動くまちづくりを実践している。

また、認知症地域支援ネットワークや医療連携ネットワーク、徘徊SOSネットワーク等を構築することにより、認知症のお年寄りや家族、市民がいつでも相談しても適切な支援につながる仕組みを作っている。

本市においても、認知症対策や介護予防支援に力を入れ、介護保険第6期へ向け、これ以上の財政負担が大きくならぬよう、また、お年寄りが住みなれた地域で居住しながら安心して介護サービスを受けられるよう早急な体制づくりが望まれる。

この中間答申がなされたい。



多久市の小中一貫校の取組

小中一貫校教育について

多久市では、児童・生徒数の減少により、学校規模の適正化や効率的な施設運営の検討を目的に、学校適正規模・適正配置

検討委員会を設置して、学校の在り方について検討してきた。

検討委員会からは、

- ①望ましい教育環境実現のため、統合・再編を早急に進める
- ②小中一貫教育の研究を進め、その導入を図る
- ③スクールバスの導入を図り、通学対策を講じる
- ④跡地や施設は、地域活性化につながる活用を検討する

この答申に基づき、平成25年度から「学校に行くらぬ多久」をスローガンに小中一貫校として中央(3)小学校を統合)、東部(2)小学校を統合)、西溪(2)小学校を統合)の3校をスタートさせている。子どもたちや保護者のニーズにうまく答えながら、教育内容の充実も図っており、本市でもぜひ参考にしてもらいたい。

請願・陳情はどなたでも提出できます

請願書の書式

市民は誰でも市政についての要望や希望などを、請願書や陳情書として市議会に提出することができます。

提出先

請願は1人以上の紹介議員(署名・押印)が必要ですが、陳情は紹介議員の必要はありません。

陳情書の書式

- 宛先 市議会議長
- 提出者の住所、氏名、電話番号
- 提出年月日

取り扱いについて

原則、受付日以降に開会される定例会で取り扱われます。

なお、公序良俗に反する行為を求めるものや市が処理権限を有しない内容のものなど請願陳情にすぎません。

ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

年 月 日

日置市議会
議長 様

住所
氏名 (印)
電話番号 (印)
(紹介議員氏名)

件名 ○○○についての陳情(請願)

【趣旨】

傍聴席から

9月定例会では、伊集院地域各種女性団体の皆さまが一般質問の傍聴に多数お越しくださいました。

市議会を傍聴して感じたこと

山崎リツ子さんはじめての市議会傍聴でした。

女性部員たちは、議会に興味を持っている人が多く、9人の部員が希望し、進んで参加しました。

会場に入ったとたん、シーンとした雰囲気にながし、緊張感と感動でいっぱいでした。

まさに、テレビで見ている国会の場みたいでした。

一般質問通告書を手にした議員の質問事項の説明を聞きました。

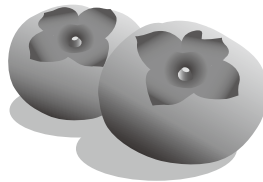
「そうだそうだ」と思う内容と「そこまで必要なの」と疑問に思う内容

等がありました。

また、答弁を聞きながら、「もっと具体的に、市民が納得できる政策がほしい」などと勝手に思いました。

初めての傍聴なので、一つ一つが新鮮でした。大変意義ある勉強ができました。

今後も議会傍聴をして市政の理解を深めていきたいです。



議会を傍聴して

田中嘉子さんは日置市議会だよりを拝見しながら、一度は傍聴してみたいと思っていたところ、今回、その機会をいただきました。

初めてのことで、少し緊張しましたが、大変興味深く、あつという間に時間が過ぎてしまいました。

市政に携わる方々の熱

い思いが伝わってくるようでした。

私は、自分たちも身近なところから何かできることはないのか、そうしたことesを常に意識することなども大事なことで

はないかと感じました。子育てをしながら思うのですが、安全で住みよい環境は親として本当にありがたいことです。

これから、子どもたちの笑顔を絶やささない、そんなまちづくりを願いながら、議場を後にしました。

議会が始まり、質問内容に従って一般質問が進められ聞き入っていましたが大変良い機会だったと思います。



議会傍聴に参加して

南田ヤエ子さんは5月に市議会議員が新たに決まりました。

議員の方々がどのような活動をされているのか大変気になっておりまして、なかなか様子が伝わってこないと感じてい

ました。

初めての体験で、どんな雰囲気か、どんなやりとりがあるかわからないまま席につきました。

議場は静まり返って、議員の真剣なまなざしを感じ言葉が生まれませんでした。

議会が始まり、質問内容に従って一般質問が進められ聞き入っていましたが大変良い機会だったと思います。

女性団体の中で、「市議と語る会」を行っていますが、その中で討議する機会があり、がんばっている姿を感じます。

私たち女性団体も市政に関心を持ち、市議に市民の声が届くつながりを持つて、安心・安全なまちづくりに活動を続けていきます。

次回の議会を楽しみにしています。

議会報告会を開催します

市政に関する情報を議会の視点から市民の皆様にお知らせし、また、市民の皆さまと意見を交換するため、下記の日程（予定）で議会報告会を開催します。時間はいずれも午後6時30分から午後8時までです。皆さまの貴重なご意見をお聞かせください。

地域	開催日	開催場所
伊集院	1月29日（水）	日置市中央公民館 3階大会議室
東市来	2月3日（月）	東市来文化交流センター 1階多目的室
日吉	2月5日（水）	日吉中央公民館 2階講堂
吹上	2月7日（金）	吹上中央公民館 2階大会議室

※上記日程は変更になる場合もあります。

議会中継 (ライブ・録画) インターネットへの配信を始めます!

これまで、課題になっていた議会中継のインターネット配信(ライブ・録画)を12月議会から開始する予定です。

現在、インターネットで配信するための環境整備を行っています。

12月議会からは、ぜひインターネットでの中継もご覧ください。
詳細は、12月議会前に市ホームページをご覧ください。



編集後記

「台風一過」そして記録的な大雨。朝夕の涼しさを感じていると、道端には彼岸花。人間なら役目を忘れていくかもしれません。

何も言わず、何も望まず。

「唯我独尊」の私たちはもつと謙虚にならないと。

国の債務は、ついに1000兆円を超えましたが、返せるのでしょうか。

さて、9月議会はたくさんのお客様で、議場が華やかになりました。

「実りの秋」「食欲の秋」でもあります。

「読書の秋」に「議会だより」を、お届けします。

(池満)

《発行責任》 宇田 榮

《編集責任》 下御領 昭博

広報編集委員会 黒田 澄子

委員長 池満 洋之

副委員長 坂口 浩一郎

委員 留盛 尉司